製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

JUNSEI

1, 化学物質等及び会社情報

会社名　　純正化学株式会社
本社住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号　03-3270-5426　FAX 番号　03-3270-5418
担当部門　試薬部担当者　菅野英奇
住所　　〒343-0844　埼玉県越谷市大間野町 1-6
緊急連絡電話番号 0489-86-6161　　FAX 番号　0489-89-2787
作成日　　2000 年 10 月 25 日
整理番号　43265
製品名　　㈱特級　炭酸銀　Silver carbonate

2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品
化学名: 炭酸銀
化学式: Ag2CO3
CAS　No: 534-16-7
含有量: 99%以上
化審法: 1-1016
安衛法: 公表

3, 危険有害性の要約

分類の名称: 急性毒性物質。

4, 応急措置

◇眼に入った場合
直ちに水で 15 分間以上洗眼し、洗眼中はまぶたを開いたままにし、水が眼とまぶたに行き渡るようにする。必要に応じて医師の手当てを受ける。
◇皮膚に付着した場合
直ちに汚染された衣服を脱がせて水で十分に洗う。必要に応じて医師の手当を受ける。
◇飲み込んだ場合
口をすすぐ。

5, 火災時の措置

◇消火方法
周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合は、散水して冷却する。
◇消火剤
水,粉末,二酸化炭素,泡。

6, 漏出時の措置

直ちに掃きとりてできるだけ容器に回収し、その後多量の水で洗い流す。

7, 取扱い及び保管上の注意

◇取扱い

1. できるだけ眼,皮膚に触れないようにし､必要に応じて保護具を着用する｡(皮膚に付着すると感光して着色する恐れがある｡)

2. 取扱い場所の換気をよくする。

3. 取扱い後は手洗いを十分に行い､作業衣等に付着した場合は着替える。

4. 取扱いは、遮光下､又は赤色光中で行うこと｡

◇保管

遮光した密閉容器に入れ､乾燥した暗所に保管する。

8, 暴露防止及び保護措置

管理濃度:未設定。

許容濃度:

日本産業衛生学会:0.01mg/m3 (Agとして)

ACGIH(1992 年度版):0.01mg/m3 (Agとして)

設備対策

1. 局所排気装置を設ける。

2. 取扱い場所の近くに安全シャワー,手洗い･洗眼設備を設け､その位置を明瞭に表示する。

保護具

◇必要に応じで、防塵マスク,保護めがね,保護手袋等を着用する。

9, 物理的及び化学的性質

外観:淡黄色粉末。

融点:分解性(約 220℃で Ag2O と､CO2 に分解),(218℃で分解圧 752mm となる)

沸点:- - -

揮発性:- - -

比量:6.077 (4℃/20℃)

溶解性

1. 水に難溶。20℃;3mg/100mL,100℃;50mg/100ml

2. 希硝酸,硫酸,アンモニア水,シアン化アルカリ溶液に可溶。

3. 濃炭酸アルカリ溶液には、カルボナト銀錯塩をつくって可溶。

感光性:光に敏感で、明るいところに放置すると暗色(黒色)になる。

10, 安定性及び反応性

引火点:知見なし。

発火点:知見なし。

安定性:熱に不安定。

反応性:塩酸水により、塩化銀を析出する。

爆発性:知見なし。

11, 有害性情報

急性毒性:知見なし。

12, 環境影響情報

銀塩は、微量でも微生物に対して､殺菌効果がありますので､除去を完全に行わないと生物処理や､河川や湖、海洋の浄化作用を阻害するおそれがあります。

13, 廃棄上の注意

1. 大量の場合は、専門業者に廃棄物(有価物)として銀の回収を委託すること。

2. 少量の場合は、固形物はそのまま､溶液は塩化銀を析出させてから濾紙などで濾別して回収し専用容器などで保管し､まとまった量にしてから回収委託すること。

14, 輸送上の注意

◇取扱い及び保管上の注意の項の記載による。

15, 適用法令

◇毒物及び劇物取締法: 劇物　指定令第 2 条 24 号

16, その他の情報

参考文献

1) 製品安全データシート作成業務ガイド(日本能率協会)
2) 化学物資安全性データブツク(オーム社)
3) 化学物質の安全性に係わる情報提供に関する指針(平成 5 年 3 月 26 日)通商産業省
4) 毒物劇物取扱いの手引き(改訂新版)厚生省薬務局安全課編(時事通信社)
5) 危険物ハンドブック(丸善)
6) 化学大事典(共立出版)
7) 岩波理化学大事典(第 3 版増補版)(岩波書店)
8) ACGIH(1991～1992 年度用)(日本作業環境測定協会)
9) 公害防止の技術と法規・水質編(5 訂)(産業環境管理協会)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途, 用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。